

25 t アポロン ジャッキ圧入工法



※山留 親杭H鋼圧入 現場

■作業状況 & 条件

工法：アポロン ジャッキ圧入工法 （本体機：25 t）

打設H鋼杭：H400×200、8m

使用機械：25 t アポロン機本体、HR330パワープレス（アポロンジャッキ）

最大作業半径：9m

地層：砂質シルト

■備考

N値0～5前後の地層が続けば、10m前後のH鋼杭を直で圧入する事が可能です。

また、それ以上のN値でも、削孔併用工法を実施することで、15m前後のH鋼杭も圧入可能となります。

なりよりも、発生土がほぼ出ない為、現場の次工程での作業負担の軽減となります。

25tアポロン 削孔ジャッキH鋼圧入工法



※地盤が固い状況下でも削孔後に、ジャッキを使用してH鋼を圧入

■作業状況 & 条件

工法：25 t アポロンジャッキ 削孔併用圧入工法

打設杭：H400×200、10m

キリ長さ径：キリ11.6m、350φ

最大作業半径：9m

地層：ローム層

■備考

骨材（セメント・ベントナイト）を使用せずに、固い盤に対して、H鋼を打設する工法です。

骨材を使用しない事による、工事費用削減となりました。

また、H鋼のフランジ部分を削孔しない工法の為、H鋼の倒れ防止効果も兼ねた工法となっております。

※軟弱地盤（N値3前後）であれば、直ジャッキ圧入も可能な工法です。